

長野県を対象に住宅資産価値向上の取組として、性能だけでなく、デザイン価値を付加することで、若年世帯への訴求を図る。価値向上した住宅に対し、金融機関(八十二銀行)による優遇金利の住宅ローンが利用できるよう開発する。また、県内の不動産ポータルと連携し、情報配信を行うことで、一般消費者へ価値向上した住宅の魅力が、正確かつスピーディーに伝わるような仕組みを開発する。

1. 住宅性能の向上・維持保全に資する取組

【住宅のデザインも含めた性能向上】

都市部では既にトレンドとなっているリノベーションが、長野県では店舗設計・意匠設計を中心に流行していることを鑑み、住宅取得を志向する若年世帯が好むデザインを地元デザイナーからヒアリングする。またデザイン提案に加え、中古住宅の性能向上・維持保全を一緒にパッケージ化する。



【維持保全に関わる取組】

ホームインスペクション・家歴書ネット(※いえかるて準拠 日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合)・おうちケア定期便(※定期点検・シロアリ検査等のトータルアフターサービス)・修繕リフォーム等、維持保全のための取組を実施できる体制を構成員の中で整備。資産価値の向上を確実に図りそれを金融機関に評価してもらう。

【価値が伝わる正確な情報提供】

資産価値の向上を不動産ポータルを拡張し情報配信し、市場拡大へつなげる。

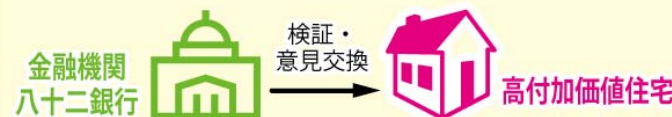
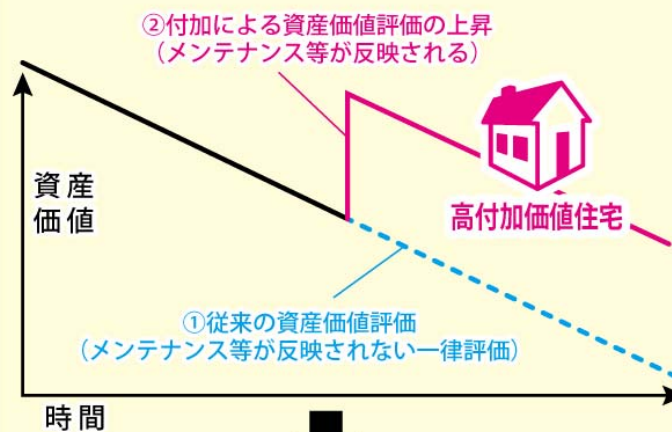
2. 住宅性能を適正な価格評価につなげる仕組み

維持保全に関わる取組で行う、インスペクションの実施による報告書や修繕履歴や定期メンテナンス計画、そしてリフォーム等により、価値の増大や経済的残存耐用年数の延長を反映した価格評価が行えるか、金融機関と連携して刷り合わせを行う。

3. 金融面(金融商品・資金調達支援)の取組

【新しい価値・価格評価の取組】

資産価値が金融面へ反映できるか検証・検討を行う



- ・住宅ローンの金利優遇
 - ・住宅ローンの返済期間の優遇
- 等について検討する